

素顔の尾崎一雄

— 未公開の書簡と写真から —

2021
3.22[月]»5.16[日]

(緊急事態宣言が継続している場合は、解除の翌日から)

旧田中光顕別邸・国登録有形文化財

小田原文学館

*2021年4月1日から、休館日と開館時間に変更になります。

開館時間 3月31日まで 9:00~17:00

4月1日から

3月~10月 10:00~17:00

11月~2月 10:00~16:30

(いずれも入館は閉館の30分前まで)

※特別展開催時等、変更することがあります。

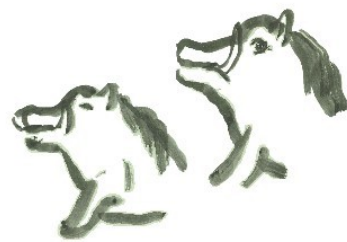
休館日 月曜日(休日の場合は翌平日)、12月28日~1月3日
(臨時休館あり)

会期中の休館日 4月以降の月曜日(5月3日は開館)、5月6日

※緊急事態宣言の状況により変更することがあります。

最新情報は小田原市ホームページ等でご確認ください。

素顔の尾崎一雄



イラスト：尾崎一雄

—未公開の書簡と写真から—

尾崎一雄は、祖父の代まで足柄下郡下曾我村（現小田原市）宗我神社の神官を務めた家に生まれました。少年時代の尾崎が文学に熱中したのは、神奈川県立小田原中学校（現小田原高校）在学中に志賀直哉の小説「大津順吉」を読んで感動したことがきっかけでした。大学時代、妹を病気によって亡くした尾崎は、冬の蜜蜂の生態と妹の死を絡めて描いた短編小説「二月の蜜蜂」を発表、これが文壇デビュー作となりました。さらに、結婚後の昭和12年には、自分と妻をモデルに貧乏作家夫婦の生活をユーモアをもって描いた『暢気眼鏡』が第五回芥川賞を受賞しています。

尾崎は家族など身近な人々をモデルに、多くの小説を発表しましたが、自身をとりまく生物と生命の儚さや強さも、尾崎文学の主要なモチーフとなっています。

本展では、ご遺族や生前親交のあった方からご寄贈いただいた800点以上にのぼる写真や書簡などの遺品を中心に、尾崎一雄の下曾我での生活や、家族とのつながりを感じられる近年の新収蔵資料を公開します。

本展関連イベント

[尾崎一雄作品朗読会]

日時 3月20日(土) 10:00～
※延期になることがあります。

場所 小田原駅東口図書館

費用 100円(資料代)

定員 25名(要事前申込)

主催 小田原ガイド協会

[文学散歩 下曾我編]

尾崎一雄ゆかりの下曾我を歩きます。

日時 3月28日(日) 9:30～12:30頃

集合 JR下曾我駅 改札口

解散 梅の里センター

費用 1,000円

定員 30名(要事前申込)

主催 小田原ガイド協会

[文学散歩 小田原編]

尾崎が通った小田原中学の跡地から出発し、ゴールの小田原文学館では本展を見学します。

日時 4月4日(日) 9:30～12:30頃

集合 小田原駅東口二宮金次郎像前

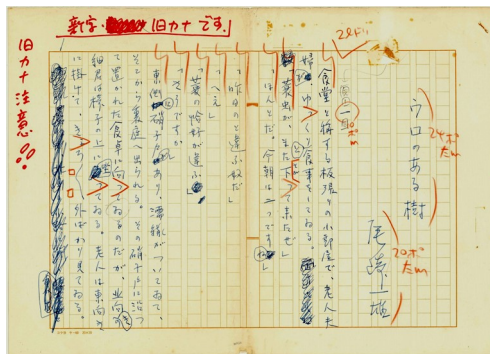
解散 小田原文学館

費用 1,000円

定員 30名(要事前申込)

主催 小田原ガイド協会

*いずれのイベントも申し込み・問合せは
小田原ガイド協会 (☎0465-22-8800) まで
緊急事態宣言の状況等により変更することがあります。



左：宗我神社にて
上：「ウロのある樹」原稿



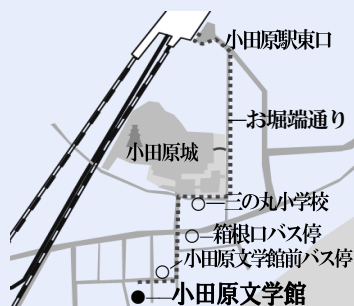
尾崎一雄邸書斎（小田原文学館敷地内）

日本の歴史公園100選
旧田中光顕別邸・国登録有形文化財

小田原文学館

〒250-0013 神奈川県小田原市南町 2-3-4
問合せ 小田原市立中央図書館 TEL0465-49-7800

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
2021年3月21日まで休館しています。



- 入館料
- ・大人250円、小中学生100円
(団体/障害者手帳をお持ちの方割引有)
- アクセス
- ・小田原駅東口から徒歩20分
 - ・小田原駅東口から箱根方面バス
H/T/J/Z/U線「箱根口」下車徒歩5分
 - ・小田原宿観光回遊バス「うめまる号」
「7.小田原文学館前」下車徒歩1分
(土日祝日のみ運行)
 - ・車で国道1号線「箱根口交差点」から
路地に入り220m右折後直進100m
(駐車場7台・無料)